

日		時		会場		演題・発表者		時		会場		演題・発表者	
9月16日（水）		A会場	OS1 :CO2施用のスマート化研究の最先端			B会場	B2：生物環境工学の新展開 （脱炭素、資源循環、宇宙、ロボット）						
			オーガナイザー：安武大輔（九州大学），日高功太（農研機構），高山弘太郎（豊橋技科大）				座長：後藤英司（千葉大学）						
	09:15-11:15			OS1-01 施設園芸のグリーン成長戦略を指向したCO2施用技術のスマート化と多品目への展開 *日高 功太1、安武 大輔2 1. 農研機構九州沖縄農業研究センター 2. 九州大学大学院			09:15-09:30	B2-01	仮想空間での農業効率向上を目的とした指紋面接触型5指ハンドモデルの開発 *石川 瑠雄1、松浦 壮志1、福田 弘和1 1. 大阪公立大学				
				OS1-02 ハウスミカンにおける局所CO2施用の導入 *矢野 拓1、林 侑紀1、田邊 秀和1、野村 浩一2、日高 功太3 1. 大分農研セ 2. 高知大学 3. 九州農研セ			09:30-09:45	B2-02	トマト個体群の環境応答評価に向けた吊り下げ型マルチモーダルイメージングロボットによる経日画像計測 *川口 陸斗1、佐藤 匠真1、山下 美桜子3、大場 佳成1、Taufiq Yuliawan3、磯山 侑里2、上原 一将1、藤内 直道3、高山 弘太郎1,2,3 1. 豊橋技術科学大学大学院工学研究科 2. 豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター 3. 愛媛大学大学院農学研究科				
				OS1-03 スマートCO2施用技術の低炭化と社会実装に向けたアプローチ *井手 一郎1、日高 功太2、安武 大輔3 1. 株式会社アグリス 2. 農研機構 九州沖縄農業研究センター 3. 九州大学 大学院農学研究院			09:45-10:00	B2-03	アンモニアMGT発電装置を利用した脱炭素化実証試験における環境制御への有効性調査(その2) *小峰 正史1、畠山 拓巳1、近藤 正1、吉田 康徳1、高橋 浩行2 1. 秋田県立大学生物資源 2. (株)秋田農販				
				OS1-04 CO2施用の効率化に向けたDAC技術開発 *森山 哲雄1 1. Carbon Xtract株式会社			10:00-10:15	B2-04	メタン発酵消化液の生物酸化で得られた培養液および固形分を利用したレタスの養液栽培 *遠藤 良輔1、野間 洋志2 1. 大阪公立大学大学院農学研究科 2. 大阪府立大学大学院生命環境科学研究所				
				OS1-05 施設園芸果樹におけるCO2施用効果定量評価のための一時間鎖型光合成計測システムの開発 *磯山 侑里1、久武 沈嗣2、大場 佳成2、Taufiq Yuliawan1、藤内 直道3、上原 一将1、高山 弘太郎1,2,3 (1. 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 2. 豊橋技術科学大学 大学院工学研究科 3. 愛媛大学 大学院農学研究科			10:15-10:30	B2-05	低圧・低重力環境がシロイヌナズナの発芽および成長に及ぼす影響 *田口 凌1、近藤 悠2、日出間 純2、高橋 秀幸2、吉田 英生3、彦坂 晶子3、後藤 英司2 1. 千葉大学園芸学研究科 2. 千葉大学宇宙園芸研究センター 3. 千葉大学園芸学研究院				
				OS1-06 セミクローズド温室における利益最大化を目的とした最適CO2施用戦略の検討 *和田 武龍1、赤平 裕貴1、Taufiq Yuliawan2、磯山 侑里2、藤内 直道3、上原 一将1、高山 弘太郎1,2,3 1. 豊橋技術科学大学大学院 工学研究科 機械工学専攻 2. 豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター 3. 愛媛大学 大学院農学研究科			10:45~11:00	B3-01	電気化学インピーダンス法による植物内部情報の抽出と機械学習による状態推定 *杉山 睦1、吉永 博紀2、梅本 通介2、大濱 悠希3 1. 東京理科大学 創域理工学部・農理工学際連携コース・総合研究院 2. 東京理科大学 創域理工学研究科・農理工学際連携コース 3. 東京理科大学 創域理工学部				
								B会場	B3：生体計測・センシング 座長：彦坂晶子（千葉大学）				
							10:45~11:00	B3-01	Pre-symptomatic Detection of Ganoderma boninense in Oil Palm Nursery Roots *Mashuri Mashuri1、Nasution Aulia Muhammad Taufiq2、Nurhadi Hendro2、Shovitri Maya2、Nurhidayati Tutik2、Kuswytasari Nengah Dwianita2、Banowati Galuh3、Mustangin Muhammad3、Islam Md Parvez1 (1. Ehime University 2. Institut Teknologi Sepuluh Nopember 3. LPP Polytechnic Yogyakarta)				
							11:00~11:15	B3-02	根系(ガス) センサーによる熱度計測システムの開発 *石崎 芽唯1、立川 明日香1、土居 史昭2、品川 恵治2,3、Islam Md Parvez1、羽藤 堅治1 1. 愛媛大学大学院農学研究科 2. 株式会社ゴールドラッシュ 3. 愛媛大学大学院連合農学研究科				
							11:15~11:30	B3-03	スリット状暗周期照明を用いた概日時計攪乱が誘発するシロイヌナズナslr変異体の側根発生の確率性と複雑性 *肥田 直子1、小西 雄大1、福田 弘和1 1. 大阪公立大学工学研究科				
			11:30~11:45	B3-04									
11:50-12:20		英文誌編集委員会（C会場）											
12:20-12:50		和文誌編集委員会（C会場）											
		A会場	OS2:環境制御が切り拓くハープ・機能性野菜の高品質生産			B会場	B4：生体計測・生育予測・果樹						
			オーガナイザー：吉田英生（千葉大学）				座長：イジユン（東京大学）、松田怜（東京大学）						
	13:00-15:00			OS2-01 光質と肥料濃度の統合制御が水耕ルッコラの品質形成に及ぼす影響 *大橋 敬子1,2、福田 ひなた1、福山 太郎2 1. 玉川大学農学部 2. 玉川大学学術研究所			13:00-13:15	B4-01	ブドウ養液土耕栽培における枝の生育モニタリングによるストレス診断 *立川 明日香1、石崎 芽唯1、品川 恵治2、Islam Md Parvez1、羽藤 堅治1 1. 愛媛大学大学院農学研究科 2. 愛媛大学大学院連合農学研究科、ゴールドラッシュ株式会社				
				OS2-02 サフラン栽培における最適環境調節法の開発 -光量子束密度を入力、シンク強度変動を出力とするシステム同定- *野川 愛実1、伊藤 博通1、宇野 雄一1、堂野 真由佳1、橋本 大輝1、市古 あかね1、加藤 啓介1、和泉 颯太1、酒井 庸至2 1. 神戸大学大学院農学研究科 2. 神戸大学農学部			13:15-13:30	B4-02	Cultivar differences in citrus fruit sunburn: I. Roles of stomatal density on the symtom formation *原 彩花1、棟田 拓己1、堀 慎一郎1、上田 浩晶2、笹山 新生2、越智 洋之2、住田 智紀1、関口 太一朗1、石崎 万結1、野並 浩1、和田 博史1 1. 愛媛大学 2. 愛媛県農林水産研究所 果樹研究センター みかん研究所				
				OS2-03 植物工場でのペパーミント生産における紫外LED光照射の影響 *福山 太郎1、富田 麗雅2 1. 玉川大学学術研究所 2. 玉川大学農学研究科			13:30-13:45	B4-03	Cultivar differences in citrus fruit sunburn: II. Metabolite profiling of single flavedo cells using picoPPESI-MS *棟田 拓己1、原 彩花1、Erra-Balsells Rosa2、上田 浩晶3、笹山 新生3、堀 慎一郎1、越智 洋之3、住田 智紀1、関口 太一郎1、石崎 万結1、野並 浩1、和田 博史1 1. 愛媛大学 2. ブエノスアイレス大学 3. 愛媛県農林水産研究所 果樹研究センター みかん研究所				
				OS2-04 人工光下栽培レモングラスにおける405 nm光同時照射が抗酸化関連成分に及ぼす影響 *岡崎 聖一1、狩集 俊郎1 1. 株式会社キーストーンテクノロジー			13:45-14:00	B4-04	根系の日齢・乾物重推定手法の組合せによる根発育段階別バイオマスの時空間動態モニタリング →根系形質の定量評価に向けて→ *金子 詣1、安武 大輔1,2、佐合 悠貴3、岩尾 忠重2、横山 岳1、久保田 滋祐1、広田 知良1 1. 九州大学 2. 高知大学 3. 山口大学				
				OS2-05 アカシジノの機能性成分濃度向上のためのUV-B照射条件の検討 *吉田 英生1、眞野 千弦2、浅岡 郁巳2、彦坂 晶子1、後藤 英司1 1. 千葉大学大学院園芸学研究院 2. 千葉大学大学院園芸学研究科			14:15-14:30	B4-05	根系バイオマスを非破壊・連続推定する機械学習モデル →観測可能な光合成と地上部成長状態から植物のHidden halfに迫る→ *安武 大輔1,3,2、Kim Jahyun、Jin Ziyi2、佐合 悠貴4、岩尾 忠重3、横山 岳1、久保田 滋祐1、広田 知良1 1. 九州大学大学院農学研究科 2. 九州大学大学院生物資源環境科学府 3. 高知大学IoP共創センター 4. 山口大学大学院創成科学研究科				
							14:30-14:45	B4-06	根域制限・養液土耕栽培によるブドウ栽培システムの開発 品川 恵治2、*羽藤 堅治1、Md Parvez Islam1 1. 愛媛大学大学院農学研究科 2. 愛媛大学大学院連合農学研究科／ゴールドラッシュ(株)				
							14:45-15:00	B4-07	NeRFにより生成したトマト株の三次元点群を用いた葉面積推定手法の検討 *中村 晋1、関野 光晟2、磯山 侑里3、藤内 直道4、上原 一将1、高山 弘太郎1,3,4 1. 豊橋技術科学大学大学院工学研究科 2. 豊橋技術科学大学工学部 3. 豊橋技術科学大学先端農業・バイオリサーチセンター 4. 愛媛大学大学院農学研究科				
					A会場	若手キャリア交流フォーラム：研究とビジネスの未来を語る集い 主催者：大橋敬子（玉川大学）、地子智浩（電力中央研究所） 司会：石井隆（電力中央研究所）			B会場	B5：イチゴ			
										座長：古山 真一（県立広島大学生物資源科学部）			
					15:30~17:00		概要：企業や研究機関で活躍する若手OB・OGを招き、学生や若手研究者を対象にキャリア形成について考える企画です。進路選択の経験談や現在の業務内容、仕事のやりがいなどを紹介いただき、参加者からの質問やディスカッションを通して参加者が自身の将来像を描くきっかけを提供します。 参加対象者 本大会に参加する学生および一般参加者 プログラム ○趣旨説明 ○登壇者紹介 ○事前質問に対する回答およびパネルディスカッション ○フリーディスカッション 登壇者（予定・敬称略） 株式会社朝日工業社 井上 克也 株式会社いけうち 本田 佳留奈（千葉大学大学院在学中） クロロス株式会社 CTO 伊藤 悠一 株式会社アグリ王 山下 瑞季 電力中央研究所 地子 智浩 千葉大学 吉田 英生 東京大学 イジユン 玉川大学 福山 太郎			15:15-15:30	B5-01	現場活用を考慮したイチゴ果数計測と登熟遷移予測ソリューションの開発 *伊藤 悠一1、荒木 勇磨1、相澤 光俊1 1. クロス株式会社	
15:30~15:45	B5-02	イチゴの群落光合成速度の品種間差は群落構造に起因する受光量の差によるものか？ *藤坂 郁治1、高橋 朝也1、安武 大輔1,2、小野 信太郎3、日高 功太3、久保田 滋祐1、横山 岳1、広田 知良1 1. 九州大学 2. 高知大学 3. 九州沖縄農業研究センター											
15:45~16:00	B5-03	開花時の果柄幅を用いた最大果実重の制約によるイチゴ果実成長の早期予測 *小野 信太郎1、木村 建介2、井 研吾3、照屋 佳也3、中井 鴻美4、安武 大輔3、日高 功太1、北野 雅治5 1. 農研機構九州研 2. 農研機構農環研 3. 九州大学 4. F-REI 5. 高知大学											
16:00~16:15	B5-04	気温の日変化パターンが果実外径センサで推定したイチゴ果重の増加に及ぼす影響 *大石 直記1,2、二俣 翔1 1. 静岡県農林技術研究所 2. 静岡大学創造科学大学院											
16:15~16:30	B5-05	促成イチゴの噴霧耕における根域局所加温が収量および品質に及ぼす影響 *渡邊 賢1、三野 航司朗1、本田 佳留奈1,2 1. 株式会社いけうち 2. 千葉大学園芸学研究科											